

逐條土地收用法資料 (三三)

高 坂 孝 三

第十章 訴願及訴訟

第八十一條 收用審査會ノ裁決ニ對シテ不服アル者ハ内務

大臣ニ訴願スルコトヲ得

收用審査會ノ違法裁決ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトス

ル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル訴願訴訟ハ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケ

タル日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキハ之ヲ提起スルコト

ヲ得ス

本法ノ規定ニ依リ通常裁判所ニ出訴ヲ許シタル事項ニ關

シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

一、違法裁決ト行政訴訟

法 令

(一) (一四議 明治三十三年二月十三日
貴 族 院)

(要旨) 本法案ニ於テハ當初行政訴訟ヲ認ムルノ規定ヲ

設ケサリシコト及ヒ之ヲ認ムル規定ヲ設クルニ至ル迄ノ審

議ノ經緯

(議員問) 委員長ニ質問致シマス。…八十一條ニ依ツテ見ル

ト訴願丈ケガ許シテアリマスガ獨リ行政訴訟ナドハ許シテ無

イ。其ノ邊ノ模様ヲ承リ度イ。

(委員長答) 委員會デハ多少質問ガ御座イマシタ丈ケデ此ノ條

項ニ就キマシテハ一字一句ノ修正モ無イノデ私カラ申シ上ゲル

點ハ有リマセヌ。若シ此ノ條項ニ就キマシテ新舊ノ法案ノ對照

ヲ御調ニナリ度ウ御座イマスレバ何ウカ政府委員ニ御質問ヲ願

ヒ度ウ御座イマス。委員會デハ唯原案此ノ儘デ宜シイト云フ事

(議員問) 先程馬屋原君カラ云ハレマシタ行政訴訟ノ途ノ無イト云フ事ニ附テ本員モ實ハ同感デス。…現行法ハ明治八年アタリカラ行政裁判所ノ出來ナイ時分カラ來テ居ルノデアアルカラ其ノ儘ニナツテ居リマスカ知レマセヌガ、土地收用ニ就テハ之ハ仲々色々弊害モ有レバ隨分人民ノ迷惑ヲスル事モ有リマス。サウ云フ事ハ他ノ法律ト同ジ様ニ違法處分ニ對シテハ行政訴訟ヲ許スノガ當然ト思ヒマスガ何ウ云フ譯デ御許シニナリマセヌカ。

(政府委員答) 唯今ノ御論ニ對シマシテハ先刻馬屋原サンノ御質問ニ申上ゲマシタ通りデ…明治八年ノ公用土地買上規則ニ於テハ訴訟ノ途スラ開イテ居リマセヌ。其レデ此ノ法ハ明治二十二年ニ定メラレテ其ノ際訴訟ノ途民事訴訟ノ途等ヲ開カレマシタ。先刻モ申述ベマシタ如クニ現ニ行政裁判所ノ權限ニ就テハ取調ベテ居ル際デアリマスカラ此ノ法律デハ唯訴訟ノ途ヲ廣クシタ丈ケデ、行政訴訟ヲ許スト云フ事ハ行政裁判所ノ權限ヲ定メル法律ノ中ニ定メルヲ適當ト認メタラ加ヘルノガ良カラウト云フ考デアリマス。

(議員問) 此ノ法案ハ大體現行法ノ趣旨ヲ繼續シタモノデアツテ是カラ先出訴權等ニ至テハ他ノ法律モ出來ルカラ其ノ法律ニ讓ルト云フ様ナ御説ノ様デアリマスガ、此ノ法案ニ就テ見マス

ルニ是ハ隨分重大ナ法案デアルト考ヘマス。然ルニ先刻特別委員長ノ報告デハ委員會ニ於テハ一字一句ノ異議モ無ク滿場一致デ可決シタト云フ報告丈ケデ、夫レニ就テ本員ハ少シ質問ヲ致シマシタガ唯理由モ無ク宜シイト認メタト云フ事デアリマス。此ノ法案ハ御承知ノ通り八十八條モ有ル隨分條項ノ多イ法案デアルノミナラズ事柄ニ就イテハ帝室ニ迄關係ヲ及ボス重大ナ事項ガ有ル。況ヤ第九章ノ如キ訴訟訴訟等ノ事柄ニ於テハ先刻來纏々答辯モ有リマシタガ、本員ハ何ウモ其ノ意味ガ了解セラレヌ。現ニ昨日ノ議場ニ提出ニナツテ可決ニナツタ寸分變ラヌモノニ於テハ既ニ本院ニ於テハ訴訟ノ途出訴モ許スト云フ事ニ決議ニナツテ居ル。僅ニ一日デ此ノ案ニ向ツテサウ云フ不權衡ヲ以テ決スルト云フ事ハ甚ダ本院ニ取ツテモ不面目ナ事デアラウト思フ、是ハ十分其ノ點ニ就イテ審議ヲ盡サナクテハ完全ナ法律トシテ實施スル譯ニハ行クマイト考ヘマスル。就イテハ此ノ法案ハ更ニ委員ヲ選ンデ再附託ヲ致シ度イト云フ考デアリマス、是ハ是迄ノ委員ニ於キマシテモ御異存ノ有ラウ管ハ有ルマイ、成ル可ク斯ノ如ク重大ナ法律デアアルナラバ完全ニナルト云フ事ハ御希望デアラウ、依ツテ是迄ノ九名ノ委員ニ更ニ六名ノ委員ヲ加ヘテ詰リ十五名ノ委員ヲ選ンデ是ヲ再附託致シ度イ、其ノ選定ハ例ニ依ツテ議長ニ御任カセシ度イト、斯ウ云フ動議

ヲ起シマス。

(二) (一四議 明治三十三年二月二十二日) 貴族院

(委員長報告) 第八十一條ニ修正方御座イマス。是ハ此修正ハ再附託ニナツタ一ツノ原因デアリマスルガ「收用審査會」云々ト云フ朱書ノ通ニ修正致シマシタ譯ハ、此ノ審査會ノ結果ガ違法ノ裁決ニ依ツテ權利ヲ傷害セラレタ者ノ救済ヲスル途ガ無イカラ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ルト云フ一條ヲ加ヘタ方ガ宜カラウト云フ事カラ斯様ニ相成ツタ譯デアリマス。最初ノ委員會デモ其レ等ノ事ハ勿論氣付カズニ居ツタ譯デハナイノデアリマスガ、現行ノ土地收用法ヲ見ルト行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許シテ無イノデアリマスカラ今度ノ方モ當分宜クハナイカ、且ツ政府ニ於テハ行政裁判法ノ調査中デアツテ行政裁判法ガ出來テ見レバ其ノ内ニ是等ノ事項モ加ヘテ有ルニ依ツテ殊更ニ之ヲ加ヘル必要ヘ有ルマイト云フ方ノ議カラシテ原案ノ通ニシテ置キマシタノ御座イマスケレドモ再附託後ノ委員會ニ於キマシテハ、ドウセ行政裁判所ニ訴ヘル事ヲ許スモノデアルカラ之ヲ加ヘテ置イタ方ガ外ノ法律トノ權衡ヲ得ルデアラウカラ之ヲ加ヘタイト云フ委員ノ説ガ有リマシテ是ガ多數ニ依ツテ斯様ニ修正ニ相成ツタ次第デアリマス。

法令

二、補償ノ裁決ニ對スル不服ノ趣旨ト

訴訟管轄

(一) (行裁 明治四十年第一三五號) 同四十一年十一月七日宣告

(要旨)

被收用者カ起業者ヨリ補償ヲ受クヘキ損失ノ種類若クハ原因ヲ論争スル訴訟ハ其性質行政訴訟ニ屬スルヲ以テ通常裁判所ニ提起スヘキモノニアラス

(判決理由)

從參加人ニ於テハ土地收用法第八十二條ニ依レハ收用審査會ハ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテハ通常裁判所ニ出訴スヘク行政訴訟ヲ提起シ得ヘキモノニアラスト云フモ本件ハ原告ニ於テ補償ヲ受クヘキ損失ノ種類若クハ原因ニ付論争スルモノニシテ數額ノ争ニアラサレハ其性質行政訴訟事件ニシテ通常裁判所ニ出訴スヘキモノニアラス然ラハ原告ニ對テ行政裁判所ニ出訴シタルハ相當ニシテ從參加人ノ妨訴抗辯ハ其理由ナキモノトス

註 大正九年七月二十三日民事聯合部判決ハ通常裁判所ヘ損失補償金額ノ確定ニ必要ナル事項即チ收用ト損害トノ間ノ因果關係ノ有無並ニ損害ノ範圍ヲ審理スル全權ヲ有スルモノト判示シタ。次條資料一參照。

(二) (行裁 明治四十一年第六九號
同四十二年四月二十二日宣告)

(要旨) 被收用者カ起業者ヨリ補償ヲ受クヘキ損失ノ種

類若クハ原因ヲ論争スル事件ハ其性質行政訴訟ニ屬スルヲ以テ通常裁判所ニ出訴スヘキモノニアラス

(判決理由) 被告從參加人ハ妨訴抗辯トシテ本訴ハ收用金額ニ關スル收用審査會ノ裁決ニ不服ヲ唱ヒテ其救濟ヲ求メントスルニ外ナラサレハ土地收用法第八十一條及第八十二條ニ依リ司法裁判所ニ出訴スヘク行政裁判所ノ受理スヘキ事件ニアラスト主張スレトモ本件ハ原告ニ於テ補償ヲ受クヘキ損失ノ種類若クハ原因ニ付論スルモノニシテ數額ノ争ニアラサレハ其ノ性質行政訴訟事件ニシテ通常裁判所ニ出訴スヘキモノニアラス然ラハ原告ニ於テ行政裁判所ニ出訴シタルハ相當ニシテ從參加人ノ妨訴抗辯ハ其理由ナキモノトス

(三) (大審 大正五年(オ)第二〇四號
同五年五月三十一日宣告)

(要旨) 土地收用審査會カ爲シタル補償ノ裁決ニ對スル不服ノ申立ハ之ヲ行政裁判所ニ提出スヘキモノナルヤ將又司法裁判所ニ出訴スヘキモノナルヤハ不服申立ノ趣旨カ土

地收用法ノ規定ニ從ヒ補償セラルヘキ事項ノ性質存否ヲ争フニ在ルカ又ハ單ニ損害ノ有無若クハ賠償額ノ多寡ニ關シ異議アルニ過キササルカニヨリ決定セラルヘキモノトス

(判決理由) 因テ案スルニ土地收用審査會カ爲シタル補償ノ裁決ニ對スル不服ノ申立ハ之ヲ行政裁判所ニ提出スヘキモノナルヤ將又司法裁判所ニ出訴スヘキモノナルヤハ不服申立ノ趣旨カ土地收用法ノ規定ニ從ヒ補償セラルヘキ事項ノ性質存否ヲ争フニ在ルカ又ハ斯ル基本事項ニ争ナク單ニ損害ノ有無若クハ賠償額ノ多寡ニ關シ異議アルニ過キササルニ在ルカ其ノ執レノ場合ニ屬スルカラ判別シ決定セラルヘキモノトス即チ前者ニ在リテハ收用審査會カ土地收用法ノ適用ヲ誤リ爲シタル裁決ノ違法ヲ理由トスルモノナレハ同法第八十一條第二項ノ規定ニ從ヒ行政訴訟ヲ提起スヘキモノナルモ後者ニ在リテハ補償金額ノ決定ニ關シ法律事實ノ裁量ヲ不當トスルモノナルヲ以テ同法第八十二條ニ依リ司法裁判所ニ出訴スヘキモノニシテ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ヘキモノニアラス蓋シ損失有無ノ決定ハ補償金額ヲ決定スル基礎ヲ爲スモノニシテ損失ノ否定ハ即チ補償金額ノ減額ヲ意味スルモノニ外ナラサルヲ以テ損失有無ノ決定ハ補償金額ノ決定中ニ包含セラルルモノト解スヘキモノナレハナリ此ノ趣旨ハ既ニ論旨所掲判例ノ如ク當院ノ支持スル見解ニシテ之ヲ變

更スル必要ヲ見サル所ナリ

註 大正九年七月二十三日民事聯合部判決ニ依リ變更セラレ

(四) (行裁) 大正十一年第一號
同十三年三月六日宣告)

(要旨) 收用審査會カ收用ノ裁決ヲ爲スニ當リ收用土地ノ地目ハ其ノ土地ノ現況ニ相當スル地目又其ノ面積ハ實測面積ヲ以テ表示スヘク然ラサルトキハ其ノ裁決ハ違法ナリトスル主張ノ當否ハ行政裁判所ニ於テ判定スヘキモノトス

(判決理由) 被告及被告參加人ハ裁決中土地ノ地目カ實地ノ地目ニ相應セス又反別カ實測反別ニアラサルヲ不當ナリトスル原告ノ主張ハ畢竟スルニ補償金額ヲ争フモノナルヲ以テ司法裁判所ノ管轄ニ屬スヘキモノナリト主張スルモ原告カ本訴ニ於テ請求スル所ハ收用審査會ハ收用ノ裁決ヲ爲スニ當リ收用土地ノ地目ハ其ノ土地ノ現況ニ相當スル地目ヲ表示スヘク又其ノ面積ハ實測面積ヲ以テ表示スヘク然ラサルトキハ其ノ裁決ハ違法ナルヲ以テ事實ノ部ニ記載セカ如キ判決ヲ求ムト主張スルモノナルヲ以テ其ノ主張ノ當否ハ行政裁判所ニ於テ之ヲ判定スヘキモノトス

法 令

(五) (行裁) 昭和九年第三三六一七號
同十二年五月六日宣告)

(要旨) 地上物件ノ移轉カ多額ノ費用ヲ要シ裁決ニ示ス補償金額ヲ以テ不十分ナリトスルコトハ行政裁判所ニ於テ收用審査會ノ裁決ノ取消ヲ求ムル理由ト爲スヲ得ス

(判決理由) 原告庄次郎ハ本件地上物件ハ建坪七十坪餘ノ家屋及二百四十坪ノ宅地内ノ竹木井戸下水等ノ工作物ニシテ而モ之カ移轉ノ時期ハ昭和九年九月二十一日ノ關西大風水ノ災害後ニ屬シ之ヲ二十日間ニ移轉スルコトハ極端ニ多額ノ費用ヲ投スレハ格別然ラサルニ於テハ殆ト不可能ナルヲ以テ本件裁決ハ移轉期間ノ短キニ過クル違法ノモノナル旨主張スルモ原告ノ主張ハ畢竟スルニ本件地上物件ノ移轉ノ時期カ關西大風水ノ災害後ニ屬シ然モ平日ノ期間内ニ移轉ヲ了スルニハ多額ノ費用ヲ要シ裁決ニ示ス補償金額ヲ以テハ不十分ナリト云フニ歸ス斯クノ如キハ補償金額ニ對スル不服ノ理由ト爲シ民事裁判所ニ於テ補償金額ノ當否ヲ争フハ格別當裁判所ニ於テ本件裁決ノ取消ヲ求ムルノ理由ト爲スヲ得サルヲ以テ此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ理由ナシ

三、共有者ノ訴願訴訟ト行政裁判法第十七

條第三項

(行裁 明治三十九年第四八號
同四十年七月二日宣告)

(要旨) 共有者ノ一人カ内務大臣ニ訴願ヲ爲シ共有地ニ對スル收用審査會裁決ノ取消ヲ求メタル場合ト雖モ其訴願ニシテ訴願人ノ持分ニ對スルモノナルトキハ他ノ共有者ヨリ該裁決取消ノ行政訴訟ヲ提起スル妨ト爲ラス

(判決理由) 本件ニ在リテハ原告並ニ訴願人カ各自係争地タル共有物件ニ對スル權利者タルコト勿論ナリト雖モ共有者ノ共有物ニ對スル所有權ハ被告主張ノ如ク不可分ノモノニ非ス而シテ本件係争地共有者ノ一人ナル川島康三郎カ係争地ニ對スル土地收用審査會ノ裁決ノ取消ヲ求ムル訴願ニ在リテハ訴願人ト他ノ共有者トノ間ニ何等代理關係ノ存在ヲ認ムヘキモノナキヲ以テ該訴願ハ訴願人ノ持分ニ對スルモノト認メ得ヘキモノナルノミナラズ訴願人ト本訴訟ノ原告トハ別人ナルヲ以テ行政裁判法第十七條第三項ニ依リ本件原告ニ訴權ナシトノ被告ノ主張ハ理由ナシ

四、訴願又ハ行政訴訟ノ辯明書又ハ答

辯書ノ提出

(内務 明治四十一年六月二十六日土甲第三二號)
各地方長官宛、土木局長通牒)

(要旨) 土地收用法第八十一條ニ依リ收用審査會ヲ被告トシテ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起シタル場合ニ於ケル辯明書又ハ答辯書ハ收用審査會ノ議決ヲ經テ提出スルヲ當然ノ順序トス

(原文) 土地收用法第八十一條ニ依リ收用審査會ヲ被告トシテ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起シタル場合ニ於ケル辯明書又ハ答辯書提出方ニ付大阪府知事ヨリ問合有之候處右辯明書又ハ答辯書ハ收用審査會ノ議決ヲ經テ提出スルヲ當然ノ順序ト被認候旨本官ヨリ回答致置候條爲御參考此段及通牒候也

五、手續上ノ事實ト裁決取消ノ請求理由

(行裁 明治三十四年第二三二號)
同三十五年三月五日宣告)

(要旨) 收用審査會ニ於テ起業者カ係争地ニ立入り測量ヲ爲シタルヤ否ヤノ如キ手續上ノ事項ニ付キ其事實ヲ否認スルモ之ヲ以テ其裁決ヲ取消スヘキ理由ト爲スニ足ラス

(判決理由) 原告ハ起業者カ法定ノ手續ヲ經スシテ所有地ニ立

入り測量ヲ爲シタル事實ハ掩フ可ラサル處ナルニ被告カ起業者ノ申立ノミニ依リ其事實ヲ否認シタルハ不當ナリト云フモ收用審査會ハ土地收用法第二十二條ニ依レル起業者ノ請求ニ基キ之ヲ開キ同法第三十五條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項ヲ定メテ收用又ハ使用ノ裁決ヲ爲スニ止マルモノナレハ被告審査會カ起業者ニ於テ係争地ニ立入り測量ヲ爲シタルヤ否ヤノ如キ手續上ノ事項ニ付キ其事實ヲ否認シタルハトテ之ヲ以テ直ニ其裁決ヲ取消スヘキ理由ト爲スニ足ラサルモノトス

六、土地使用權者ノ出訴權

(行裁 大正二年第四號
同二年三月十七日宣告)

(要旨) 收用ヲ受クヘキ土地ニ對シ其ノ土地賃貸借及土石賣渡ノ契約ヲ締結シ之カ登記ヲ了シテ該土地ノ使用權者タルコト明確ナル以上ハ土地收用法第五條第一項、同第六十二條、同第八十一條第二項等ノ各規定ニ照シ右使用權者ハ土地所有權者ノ受ケタル審査會ノ裁決ニ對シテ土地所有權者ト同シク獨立シテ訴權ヲ實行スルモ妨ナシ

(判決理由) 先ツ從參加人ノ抗辯ニ關スル點ニ付按スルニ原告

カ高草木源次郎外十三名ノ各所有地及地上物件ニ對シテ現ニ乙第二號證ノ一乃至五記載ノ如キ土地賃貸借及土石賣渡ニ關スル契約ヲ締結シテ之カ登記ヲ了シ以上ノ契約ニ基ケル土地使用ノ權利ヲ享有シタル事實ハ敢テ當事者間ニ争ナキ所ナリ果シテ然ラハ原告高草木源次郎外十三名ノ土地ニ對スル既定ノ使用權者ナルヲ以テ土地收用法第五條第一項並ニ第八十一條第二項等ノ各規定ニ依リ現ニ土地所有者カ受ケル審査會ノ裁決ニ對シ土地所有權者ト均シク獨立シテ訴權ヲ實行シ得ルノミナラス同法第六十二條ノ規定ニ徴スルニ起業者カ土地所有權ヲ收用取得スルノ時期ニ於テ他ノ權利ハ總テ消滅ニ歸セシムルノ例ナルカ故從參加人ニ於テ原告ハ他人ノ土地所有權ニ關スル裁決ニ就キ何等ノ利害關係ヲ有セサルモノト推定シ其取消ヲ求ムル訴ヲ不適法トシテ却下スヘシト抗辯スルハ毫モ理由ナシト認ムルヲ以テ之ヲ採用セス

七、行政訴訟ヲ許サザル事項

賃借權ノ補償金額ニ對スル不服(行裁、昭和四年第一四五號同五年三月四日宣告)
土地價額ニ對スル不服(行裁明治三十四年第二九〇號同三十五年四月二十八日宣告)

賃借權ト地上權トノ補償金額ノ差違不服(行裁判治四十二年第一二〇號同四十二年二月七日宣告)

物權設定ノ有無ニ因ル土地ノ補償金額ノ差違不服(行裁判治四十二年第一一九號同四十二年二月七日宣告)

數量及價格ノ算定不服(行裁判大正二年第四號同二年三月一日宣告)

第八十二條 收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ

不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ裁決書
謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三ヶ月ヲ經過シタルトキハ
此限ニ在ラス

前項ノ訴訟ハ收用審査會ニ對シテ之ヲ提起スルコトヲ得
ス

第五十九條ノ規定ニ依ル地方長官ノ決定ニ付テハ前項ノ
規定ヲ準用ス

一、損失補償ニ關スル司法裁判所ノ權限

(一) (大審 大正七年(オ)第八九六號)
同九年七月二十三日民事聯合部判決)

(要旨) 一、土地收用法ニ依リ收用スヘキ土地其區域又

ハ收用スヘキ物件カ確定シタルトキハ其收用カ被收用者ノ
財産權ニ及ホシタル損失如何ノ問題ニ付キ土地物件ノ收用
ト被收用者ノ受ケタル損害トノ間ニ因果關係ノ有無ヲ認定
シ因テ以テ其損害ノ範圍ヲ確定シ起業者ヲシテ之ニ相當ス
ル金額ヲ被收用者ニ支拂ハシメ被收用者ヲシテ土地物件ノ
收用ニ因リテ被リタル財産上ノ損失ノ補償ヲ受クルコトヲ
得セシムルハ其本來ノ性質ニ於テ土地物件ノ收用ヨリ生シ
タル事項トシテ之ヲ行政裁判所ノ權限ニ屬セシムルヨリモ
寧ロ之ヲ司法裁判所ニ委ネ之カ解決ノ任ニ當ラシムルヲ以
テ立法ノ要諦ヲ得タルモノト云ハサルヘカラス

二、收用ノ結果被收用者ノ被リタル損失ニ付キ一定ノ金額
ヲ以テ其補償ヲ得ントスル請求ハ司法裁判所ノ權限ニ屬シ
司法裁判所ハ土地收用法ノ規定ニ則リ因果關係ト損害ノ範
圍トヲ包括シテ審理ヲ遂ケ補償金額ヲ確定スルノ全權ヲ有
スルモノト解セサルヘカラス

三、收用ヨリ生スル損失ノ補償ハ包括的ニ其範圍ヲ定ムル

コトヲ要シ各箇ノ項目ニ付キ各別ニ之ヲ定ムヘキモノニア
ラサルヲ以テ土地收用審査會カ被收用者ノ提出シタル或項
目ニ付キ裁決ヲ遺脱シタル場合ト雖モ司法裁判所ハ被收用
者ノ不服申立ニ對シ其項目ニ付キ裁判ヲ爲スコトヲ妨ケザ
ルモノトス

(判決理由) 按スルニ公共ノ利益トナルヘキ事業ノ爲メ之ニ要
スル私人ノ土地ヲ收用スルハ公益上ノ必要ヨリ生スル公法關係
ニ屬スルヲ以テ收用スヘキ土地並ニ其區域及ヒ收用スヘキ物件
ヲ定ムルハ公益事業ノ性質ト被收用者ノ利害ヲ參酌シ之カ調和
ヲ主眼トスル公法上ノ問題タル性質ヲ有シ之カ終局ノ斷定ハ純
然タル行政處分トシテ之ヲ行政裁判所ノ裁判ニ委ヌルヲ妥當ト
シ司法權ノ行動ヲ促スヘキ立法政策上ノ必要ヲ認メスト雖モ既
ニ收用スヘキ土地其區域又ハ收用スヘキ物件カ確定シタルトキ
ハ其收用力被收用者ノ財産權ニ及ホシタル損失如何ノ問題ニ付
キ土地物件ノ收用ト被收用者ノ受ケタル損害トノ間ニ因果關係
ノ有無ヲ認定シ因テ以テ其損害ヲ確定シ起業者ヲシテ之ニ相當
スル金額ヲ被收用者ニ支拂ハシメ被收用者ヲシテ土地物件ノ收
用ニ因リテ被リタル財産上ノ損失ノ補償ヲ受クルコトヲ得セシ
ムルハ其本來ノ性質ニ於テ土地物件ノ收用ヨリ生シタル事項ト

法 令

シテ之ヲ行政裁判所ノ權限ニ屬セシムルヨリモ寧ロ之ヲ司法裁
判所ニ委ネ之カ解決ノ任ニ當ラシムルヲ以テ立法ノ要諦ヲ得タ
ルモノト云ハサルヘカラス蓋シ所有權其ノ他ノ財産權ノ損失ニ
對スル救済トシテ金錢賠償ヲ求ムル訴訟ハ司法裁判所ノ權限ニ
屬スルハ普通ノ原則トスルヲ以テ被收用者カ公益上ノ必要ニ因
リ行政處分ヲ以テ其土地物件ヲ收用セラルルノ已ムヲ得サル場
合ト雖モ起業者ヲシテ其損失ヲ補償セシムルハ所有權其他ノ財
産權ノ保護ニ於テ必要不可缺ノ事ニ屬スルノミナラス之ニ關ス
ル所ヲシテ之ヲ解決セシムルヲ以テ立法政策上ノ機宜ニ適スル
ル爭訟ハ司法裁モノト云フコトヲ得ヘケレハナリ而シテ舊土地
收用法カ其第十五條第二項ニ於テ土地收用審査委員會ノ爲シタ
ル補償金額ニ關スル裁決ニ付キ司法裁判所ニ對スル不服申立ノ
途ヲ開キ現行ノ土地收用法モ亦第八十一條ニ於テ土地收用審査
會ノ裁決ニ付キ包括的ニ行政裁判所ニ對スル不服申立ヲ許シタ
ルニ拘ハラズ補償金額ノ決定ニ對シテハ其第八十二條ニ於テ舊
ニ依リ當事者ヲシテ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得セシメタル
ハ要スルニ私權ノ尊重ニ關スル一ノ保障トシテ其保護ニ任スル
司法裁判所ノ裁判ニ訴ヘ權利伸長ノ目的ヲ達スルコトヲ得セシ
ムルノ精神ニ出テタルモノト解セサルヘカラス何トナレハ土地
ノ收用ニ關スル行政裁判所ノ權限ハ公益事業ノ性質ト被收用者

ノ利害トヲ斟酌シテ収用スヘキ土地物件ヲ確定シ起業者ヲシテ
 起業ノ目的ヲ達スルコトヲ得セシムルヲ以テ足り収用ノ結果起
 業者ト被収用者トノ間ニ於テ生スル損失補償ノ問題ニ關シ特ニ
 其裁判權ノ發動ヲ促スヘキ公益上ノ必要ナク寧ロ一般ノ原則ニ
 從ヒ私人相互間ニ於テ生スル私法問題トシテ之ヲ司法裁判所ニ

委ホ之カ解決ヲ爲サシムルヲ至當トスルヲ以テナリ
 尤モ土地收用法第八十二條ニハ「収用審査會ノ裁決中補償金額
 ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得」
 トアリテ同條ニ使用スル「補償金額」ナル文詞ニ徴スルトキハ
 司法裁判所ノ權限ニ屬スル事項ハ單ニ補償金ノ數額即チ其多寡
 ノミニ限定セラレ其以外ノ一切ノ事項就中其數額ノ因テ生スル
 因果關係ノ有無ヲ認定スルコトハ其權限ノ外ニ屬スヘキニ似タ
 リト雖モ此解釋ハ之ヲ是認スルヲ得ス凡ソ一定ノ原因ヨリ生ス
 ル損失ノ範圍ヲ定ムルニハ其原因タル事實ト損害トノ間ニ存ス
 ル因果關係ヲ確定スルコトヲ必要トシ此二者ハ分離スヘカラサ
 ル密接ノ關係ヲ有スルヲ以テ司法裁判所ハ損失ノ金額ヲ確定ス
 ルニ臨ミ其前提トシテ土地ノ収用ト損害トノ間ニ因果關係ノ存
 否ヲ確定スルノ權限ヲ有スヘキハ理ノ當然ナルノミナラス損失
 補償ノ目的トスル訴訟ニ於テ法律上最も重要ナル事項ハ因果關
 係ノ問題ニシテ數額ノ問題ハ全然從屬の性質ヲ有スルモノナル

ヲ以テ若シ司法裁判所カ損失ノ補償ニ關シ裁判ヲ爲スニ當リ不
 當ニ因果關係ヲ肯定シ又ハ之ヲ否定シタル土地収用審査會ノ裁
 決又ハ行政裁判所ノ裁判ニ服從セサルヘカラサルモノトセンカ
 其權限極メテ局限セラレ法律カ特ニ損失補償金ニ關スル裁判權
 ヲ司法裁判所ニ歸屬セシメタル實益ハ殆ト之ナキニ至ルベク斯
 クノ如キハ決シテ立法ノ精神ニ適合スルモノト解スルヲ得ス況
 シヤ土地物件ノ収用ヨリ生スル損害ハ収用ヲ以テ唯一ノ原因ト
 シ包括的ニ其範圍ヲ確定スヘク箇々ノ損害ニ付キ各別ニ其範圍
 ヲ定ムヘキモノニアラス然レハ被収用者ノ補償請求ハ常ニ一定
 ノ金額ヲ表示シテ其補償ヲ求ムルモノナレハ被収用者カ數箇ノ
 項目ヲ列擧シ補償ヲ受クヘキ損失ナリトシ其請求ヲ支持スル場
 合ニ之ヲ許否スル審査會ノ裁決ハ別箇獨立ノ決定ヲ構成スルモ
 ノニアラスシテ主文ノ裁決ノ因テ生スル理由タルニ過キササルニ
 於テオヤ從テ之ヲ許否スル結果ハ常ニ補償金額ノ存否又ハ増減
 ト爲リテ實現スルモノナルヲ以テ損失補償ノ請求ニ對スル審査
 會ノ裁決ハ結局補償スヘキ金額ノ有無多寡ヲ確定スルヲ以テ唯
 一ノ目的トスルモノト云ハサルヘカラス故ニ單ニ「補償金額」
 ノ文詞ニ立脚シ之ヲ確定スルノ前提要件タル因果關係ノ問題ヲ
 分離シ司法裁判所ノ判斷スヘキモノニアラスト解スルハ解釋ノ
 當ヲ得タルモノト云フコトヲ得ス

今此點ニ關シ新舊土地收用法ノ明文ヲ對照スルニ舊法第十五條
第一項ニハ「土地收用審査委員會ノ工事仕様ニ關スル裁決ニ服
セサル者ハ裁決ノ違ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ内務大臣ニ訴
願スルコトヲ得云々」トアリ右規定ニ依ルトキハ損失補償ニ關
スル裁決ニ服セサル者ハ常ニ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘ
ク司法裁判所ヘ土地ノ收用力被收用者ニ及ホシタル損害ノ有無
及其多少ニ關シ因果關係ト其數額トヲ包括シテ之カ裁判ヲ爲ス
ノ權限ヲ有シタルコト明ニシテ因果關係ノ問題ヲ除外シ單ニ其
數額ノミニ關シテ裁判ヲ爲スノ權限ヲ有スルニ過キサルモノト
解スルカ如キハ到底許スヘカラサルノ解釋ナリシコトハ毫モ疑
ヲ容レス何トナレハ若シ然リトセハ土地收用審査委員會カ損失
補償ニ關シ最モ重要ナル因果關係ノ問題ニ付キ不當ニ之ヲ等ノ
肯定シ又ハ不當ニ之ヲ否定シタル場合ニ於テハ出訴訴願其他何
救濟ナキニ至リ極メテ不條理ナル結果ヲ生スルノミナラス他
救濟ノ途ナキ審査委員會ノ決定ニ對シ何故ニ因果關係ニ關スル
司法裁判所ノ權限ヲ否定シタルヤヲ解スルコトヲ得サルニ至ル
ヘシ故ニ舊法ノ下ニ於テハ司法裁判所カ損失補償金ニ關シ因果
關係ト數額トヲ併セテ之ヲ確定スルノ全權ヲ有シ法律ニ所謂補
償金額ニ關スル裁決中ニハ因果關係ニ關スル問題ヲ包含セシメ
アリタルコトハ明確一點ノ疑ヲ容レザル所ニシテ又當院判例ノ

法 令

明カニ認メタル所ナリ（明治三十年第三百十五號同年十一月十
三日民事第一判判決參照）而シテ現行法ハ其第八十一條ニ於テ
土地收用審査會ノ違法裁決ニ對シ一般的ニ行政訴訟ヲ許シタル
ニ拘ラス損失ノ補償ニ關スル訴訟ハ舊法ト同シク之ヲ司法裁判
所ノ權限ニ委ネ而カモ舊法ト同一ノ文詞ヲ用ヒ補償金額ノ決定
ニ對シ不服アル者ハ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得ト規定シタ
ルヨリ推論スルトキハ其所謂補償金額ニ關スル決定ハ因果關係
ノ問題ヲ包含シ裁判所ヲシテ舊法ノ下ニ於ケルト等シク損失ノ
補償ニ關スル一切ノ問題ヲ解決セシムルノ趣旨ナリト解スヘク
新舊二法カ其用語ヲ同シフスルニ拘ラス其ノ意義ヲ二三ニスル
ハ解釋ノ當ヲ得タルモノト云フヲ得サルヲ以テ補償金額ヲ確定
スル前提要件タル因果關係ノ問題カ現行法上司法裁判所ノ權限
ヨリ離脫シタルモノト解スヘキ理由アルコトナシ
加之行政裁判所カ損害賠償ノ訴訟ヲ受理セサルコトハ行政裁判
法第十六條ニ規定スル所ニシテ而シテ土地收用法ニ依ル損失補
償ノ請求ハ法定損害賠償即チ法律ノ特別ナル規定ヨリ生スル損
害賠償ノ一種ニ屬シ右法條ニ所謂損害賠償ノ性質ヲ有スルコト
ハ毫モ疑ヲ容レザル所ナルヲ以テ行政裁判所ハ土地收用審査會
ノ決定ニ付キ損害賠償ノ前提要件ニシテ而カモ其最モ重要ナル
事項ニ屬スル因果關係ノ問題ニ付キ終局ノ斷定ヲ下スヘキモノ

トスルカ如キハ明カニ同條ヲ設ケタル立法ノ精神ニ牴觸スルモノト論セサルヲ得ス故ニ何レノ點ヨリ見ルモ損失補償金ニ關スル裁判ハ全部司法裁判所ノ權限ニ屬シ行政訴訟ノ目的タルコトヲ得サルモノト解セサルヘカラス但シ收用法第五十條第五十一條第二項第五十五條ニ掲グル事項ハ何レモ第六章損失ノ補償ノ題目中ニ規定シアルモノ之等ハ收用ニ關スル處分ニシテ補償金額ニ關スル問題ニ屬セサルヲ以テ收用法第八十一條ニ從ヒ行政裁判所ノ權限ニ屬スヘキハ勿論ナルモ收用ノ結果被收用者ノ被リタル損失ニ付キ一定ノ金額ヲ以テ其補償ヲ得ントスル請求ハ司法裁判所ノ權限ニ屬シ裁判所ハ土地收用法ノ規定ニ依リ因果關係ト損失ノ範圍ヲ包括シテ審理ヲ遂ケ補償金額ヲ確定スルノ全權ヲ有スルモノト解セサルヘカラス又收用ヨリ生スル損失ノ範圍ハ包括的ニ其範圍ヲ定ムルコトヲ要シ各箇ノ項目ニ付キ格別ニ之ヲ定ムヘキモノニアラサルハ前説明ノ如クナルヲ以テ土地收用審査會カ被收用者ノ提出シタル或項目ニ付キ裁決ヲ遺脱シタル場合ト雖モ司法裁判所ハ被收用者ノ不服申立ニ對シ其項目ニ付キ裁判ヲ爲スコトヲ妨ケサルモノトス

然レハ即チ現行土地收用法ニ關スル當院從來ノ判例中損失ノ補償ニ付キ收用審査會カ或事項ニ付キ補償セララルヘキ性質ヲ有スルモノト裁決シタル場合ニハ其損失ノ有無多寡ニ付キ司法裁判

所ニ其不服ヲ申立ツルコトヲ得レトモ之ニ反シテ補償ヲ要セスト爲シタル裁決ニ對シテハ司法裁判所ニ救済ヲ求ムルコトヲ得ストノ判例竝ニ收用審査會ノ爲ス補償金額ノ決定ハ各項目ニ付キ各別ニ獨立シテ爲スモノナルカ故ニ收用審査會カ或項目ニ對スル補償金額ノ裁決ヲ遺脱シ又ハ故意ニ之ヲ爲ササル場合ハ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得ストノ判例ハ何レモ之ヲ變更スルヲ相當トスヘク之等ノ判例ト同一ノ理由ニ出テタル原判決ハ破毀ヲ免カレサルモノトス

(二) (大審 大正七年(オ)第八九九號
同九年十月六日言渡)

(要旨) 一、土地ノ收用ニ因ル損失補償ノ裁決ニ對シテ不服ノ訴アリタルトキハ裁判所ハ收用審査會カ其裁決ニ於テ性質上補償スヘキ事項ニ非ストシテ補償ノ請求ヲ排斥シタルト否トヲ問ハス當事者ノ申立ノ範圍ニ於テ補償金額ノ確定ニ必要ナル事項即チ收用ト損害トノ間ニ於ケル因果關係ノ有無竝ニ損害ノ範圍ヲ審理判斷スル全權ヲ有スルモノトス

二、損失補償ノ裁決ハ損失全部ニ對シテ包括的ニ爲サルル

モノト解スヘク個々ノ損失項目ニ付キ各個ノ裁決成立スルモノニアラサレハ損失補償ノ裁決中ニ或損失事項ニ付キ何等ノ決定ヲ爲シタル事蹟ナキ場合ニ於テモ苟クモ當事者カ不服ノ訴ニ於テ其損失ヲ以テ收用ニ原因スルモノナリト主張スル限りハ裁判所ハ其請求ノ當否ヲ審理裁判スヘキ職責ヲ有スルモノトス

【判決理由】 按スルニ土地收用法第三十五條第一項ハ收用審査會ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ區域損失ノ補償及ヒ收用又ハ使用ノ時期ニ付キ裁決ヲ爲スヘキコトヲ規定シ同第八十一條ハ收用審査會ノ裁決中通常裁判所ニ出訴ヲ許シタル以外ノ事項ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起シ得ルコトヲ規定シ同第八十二條第一項ハ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得ト規定セルニ徴スレハ土地收用法ハ收用審査會ノ裁決中損失ノ補償ニ關スル部分ト否ラサル部分トニ付キ各別ニ救済ノ方法ヲ定メ前者ニ對シテハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ許シ後者ニ對シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ許シタルモノト解スルヲ相當トス蓋シ損失補償ノ問題ハ行政處分タル收用又ハ使用ニ因リテ生スルモノナレハ其解決ヲ以テ行政權ノ作用ニ一任スルハ理論上妨ナシト雖モ法律ハ實際上ノ

法

令

便宜ヲ慮リ其權利保護ノ公正確實ヲ期センカ爲メ之ヲ通常裁判所ノ管轄ニ屬セシメタルモノナリ從テ土地ノ收用ニ因ル損失補償ノ裁決ニ對シテ不服ノ訴アリタルトキハ裁判所ハ收用審査會カ其裁決ニ於テ性質上補償スヘキ事項ニ非ストシテ補償ノ請求ヲ排斥シタルト否トヲ問ハス當事者ノ申立ノ範圍ニ於テ補償金額ノ決定ニ必要ナル事項即チ收用ト損害トノ間ニ於ケル因果關係ノ有無並ニ損害ノ範圍ヲ審理判斷スル全權ヲ有スルモノト云フヘク又損失補償ノ裁決ナルモノハ損失全部ニ對シテ包括的ニ爲サルモノト解スヘク個々ノ損失項目ニ付キ各別個ノ裁決成立スルモノニアラサレハ損失補償ノ裁決中ニ或事項ニ付キ何等ノ決定ヲ爲シタル事蹟ナキ場合ニ於テモ苟クモ當事者カ不服ノ訴ニ於テ其損失ヲ以テ收用ニ原因スルモノナリト主張スル限りハ裁判所ハ其請求ノ當否ヲ審理裁判スヘキ職責ヲ有スルモノトス或ハ土地收用法第八十二條第一項ニ補償金額ノ決定ヲ以テ裁決ニ示セル金額ノ意味ナリト解シ從テ通常裁判所ハ其金額ノ多寡ヲ確定スル權限ヲ有スルニ過キスシテ其金額ノ因テ確定スヘキ各個ノ事實關係ニ至テハ總テ裁決ノ定ムル所ニ從フヘキモノナリト解スルモノナキニ非スト雖モ此解釋ハ之ヲ是認スルヲ得ス凡ソ收用ニ因ル損失補償ノ金額ヲ確定スルニハ收用ト損失トノ間ニ因果關係アルコトヲ明確ニスル必要アリテ此兩者ハ分離ス

ヘカササル關係ヲ有スルヲ以テ通常裁判所カ損失補償ノ金額ヲ確定スルニ方リ其前提トシテ收用ト損失トノ間ニ於ケル因果關係ノ有無ヲ判斷スル權限ヲ有スルコトハ當然ノ法理ナルノミナラス若シ通常裁判所カ損失補償ノ裁判ヲ爲スニ當リ不當ニ因果關係ヲ肯定又ハ否定シタル收用審査會ノ判決ニ服從セサルヘカラサルモノトセハ其權限ハ極メテ局限セラレ法律カ特ニ損失ノ補償ニ關スル裁判權ヲ通常裁判所ニ歸屬セシメタル實益ハ殆ト之ナキニ至ルヘク斯ノ如キハ決シテ立法ノ精神ニ適合スルモノト云フヲ得ス(大正七年(オ)第八百九十六號事件判決大正九年七月二十三日言渡參照)

(三) (大審 明治三十三年(オ)第三六八號) 同三十四年 四月二日 言渡)

(要旨) 明治二十二年法律第十九號土地收用法第二十條ニ依ル全部收用ノ請求ニ關シテ土地收用審査會ノ與ヘタル判決ハ同法第十五條第二項ニ所謂補償金額ニ關スル判決アルヲ以テ之ニ服セサル者ハ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得前記ノ事項ニ付テハ明治三十三年法律第二十九條土地收用法ノ規定モ舊法ト異ラス

(判決理由) 明治二十二年法律第十九條第二十條ニ依ル全部收用ハ公益工事ニ必要ナル土地ノ區域ニ關聯セルモノニアラスシテ全ク補償ノ目的ヲ達スルカ爲ニ外ナラサルカ故ニ該第二十條ニ依ル其全部收用ノ請求ニ關シテ土地收用審査會カ與ヘタル判決ハ同法第十五條第二項ニ所謂補償金額ニ關スル判決ナル文詞中ニ包含セラレタルコト明瞭ナリ然リ而シテ原判決ハ明治三十三年三月六日法律第二十九條土地收用法施行後ニ在リ而シテ同法第八十五條ノ規定アルヲ以テ彼此ヲ對照スルニ收用審査會カ收用又ハ使用ノ區域ヲ裁決スヘキモノナルコトハ舊法第十一條第二項ト新法第三十五條ト同一ナリトス又收用ノ爲土地又ハ建物ノ分割ヲ爲ス場合ニ於テ所有者カ其全部收用ヲ請求シ得ルコトハ同法第二十條ト新法第五十條第五十一條ト同一ナリトス故ニ其所有者ノ請求ニ因テ收用スル全部ノ土地又ハ建物カ當然收用スヘキ土地ノ區域ニ關聯スルモノニ非シテ全ク補償ノ目的ヲ達スルカ爲ニ外ナラサル所以ハ新法ニ於ケルモ亦前顯說明セシ理由ト同一趣旨ナルコト明ナルヲ以テ其全部收用ノ請求ニ關シテ收用審査會カ與ヘタル判決ニ對スル不服ノ訴ハ新法ニ於テモ亦其第八十二條ヲ適用スヘキモノトス